

10 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

① 教育委員会運営費（教育総務課）

1 教育委員会の開催（15回開催）

《取扱議案》

- (1) 向日市議会令和元年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (2) 向日市議会令和元年第1回臨時会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (3) 向日市議会令和元年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (4) 令和2年度に使用する小中学校教科用図書の採択について
- (5) 令和2年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について
- (6) 向日市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について
- (7) 人事に関することについて
- (8) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
- (9) 向日市議会令和元年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (10) 向日市議会令和2年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (11) 令和2年度向日市の教育について
- (12) 府費負担教職員人事の内申について
- (13) 人事に関することについて
- (14) 向日市小中学校個別計画（骨子案）について
- (15) 向日市立の小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について
- (16) 向日市スポーツ推進委員の委嘱について

2 総合教育会議の開催（1回開催）

第1回 令和2年3月23日（月）

議題 「教育大綱の策定について」

10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に個々の実態に応じた相談活動や体験学習等を通じて、主体性の育成及び人間関係の改善等を図り、学校への復帰や希望進路の実現につなげられるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

2 教育相談事業の充実

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や家庭訪問による教育相談を実施した。年々、相談の内容が複雑化・多様化する中、継続的な相談へも丁寧に対応した。

3 豊かな心のサポート充実事業（令和元年度主要事業）

小中学校に「心の相談サポーター」を配置し、不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。

1 0 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼児教育振興費（教育総務課）

1 私立幼稚園就園奨励費補助事業

階 層 区 分	補 助 対 象 数	補 助 金 額
生活保護法の規定による保護を受けている世帯	0 人	0 円
市民税非課税世帯	27 人	3,427,600 円
市民税所得割非課税世帯	4 人	498,800 円
市民税所得割課税額が 77,100円以下の世帯	56 人	5,969,400 円
市民税所得割課税額が211,200円以下の世帯	474 人	26,549,400 円
上記区分以外の世帯	145 人	11,514,100 円
合 計	706 人	47,959,300 円

（令和元年10月から幼児教育・保育無償化により、令和元年9月30日までの補助事業）

2 私立幼稚園児教材費補助事業（1人当たり補助金額42,000円）

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	116 人	4,872,000 円
3 歳 児	285 人	11,970,000 円
4 歳 児	266 人	11,172,000 円
5 歳 児	274 人	11,508,000 円
合 計	941 人	39,522,000 円

3 私立幼稚園設備費補助金 630,000 円 （1園当たり 210,000円）

4 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 195,000 円 （1園当たり 65,000円）

5 私立幼稚園特別支援教育振興補助金

補 助 の 範 囲	1人当たり 補 助 金 額	補 助 対 象 数	補 助 金 額
障がい児が3人以上在園している場合	98,000 円	20 人	1,960,000 円
障がい児が2人以下在園している場合	49,000 円	0 人	0 円
合 計		20 人	1,960,000 円

6 子育てのための施設等利用給付交付金

令和元年10月からの幼児教育・保育無償化により、私立幼稚園に通う満3歳から小学校入学前までの幼稚園児の保育料及び入園料を世帯の所得にかかわらず、上限月額25,700円までを補助するもの

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	135 人	15,797,840 円
3 歳 児	287 人	41,895,180 円
4 歳 児	273 人	34,019,930 円
5 歳 児	276 人	35,066,660 円
合 計	971 人	126,779,610 円

7 実費徴収に係る補足給付補助事業

私立幼稚園に通う満3歳から小学校入学前まで幼稚園児の給食費のうち、副食費（おかず代やおやつ代等）を市民税所得割課税額が77,100円以下の世帯及び多子世帯等に上限月額4,500円までを補助するもの

市民税所得割課税額が77,100円以下の世帯

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	3 人	27,130 円
3 歳 児	8 人	111,600 円
4 歳 児	9 人	72,735 円
5 歳 児	9 人	107,235 円
合 計	29 人	318,700 円

多子世帯

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	6 人	40,635 円
3 歳 児	8 人	104,970 円
4 歳 児	3 人	28,935 円
5 歳 児	1 人	18,225 円
合 計	18 人	192,765 円

10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 小学校登下校交通安全事業

通学路の危険箇所45か所に交通指導員を配置し、通学路の安全を図った。更に「交通安全反射電柱幕」を電柱等に設置した。

また、向日町警察署等の協力を得て交通教室を開催するなど、交通安全意識の高揚に努めるとともに、1年生児童に「防犯ブザー」を配布し安全対策に努めた。

3 教育支援委員会

(1) 目 的

市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学について審議し、相談指導を行った。

(2) 委員構成（28人）

市立小中学校教職員	9 人	市内私立幼稚園教職員	3 人
市立保育所職員	3	医師	1
市内私立保育園職員	5	保健師	1
特別支援教育専門職	2	教育委員会事務局職員	2
児童福祉施設職員	1	臨床心理士	1

(3) 相談指導件数 114 件

③ 学校給食管理費（学校教育課）

1 小学校給食 令和元年5月1日現在

学 校 名	給 食 実 施 児 童 数
向 陽 小 学 校	593 人
第 2 向 陽 小 学 校	558
第 3 向 陽 小 学 校	362
第 4 向 陽 小 学 校	636
第 5 向 陽 小 学 校	500
第 6 向 陽 小 学 校	334
計	2,983

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週4回

2 衛生管理

- (1) 給食室ねずみ害虫駆除業務委託
- (2) 給食室排水桝清掃業務委託

3 給食備品の整備

食器洗浄機、冷蔵庫、水槽、湯沸器、移動式ラック等給食備品を購入した。

4 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

5 食中毒防止対策

- (1) 栄養士等給食関係従事者の保菌検査の実施
- (2) 食材検査の実施

6 学校給食調理業務委託

学校給食調理業務委託実施（全小学校）

④ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学时健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施
- 7 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

⑤ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑥ 学校施設管理費（教育総務課）

1 小学校施設修繕

- | | | | |
|----------------|------------|----------|--------|
| (1) 渡り廊下防水緊急修繕 | (4 向小) (6) | 校務員室修繕 | (6 向小) |
| (2) 給食リフト修繕 | (5 向小) (7) | トイレ修繕 | (6 向小) |
| (3) 高圧受電設備修繕 | (向陽小) (8) | 給食室給湯管修繕 | (3 向小) |
| (4) 砂場修繕 | (4 向小) (9) | 通用門扉修繕 | (2 向小) |
| (5) 高架水槽修繕 | (5 向小) | | |

2 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|----------------------------------|-------------|--------------------|--------------|
| (1) 機械警備業務 | (全校) (14) | 境界測量業務 | (向陽小) |
| (2) 学校管理業務 | (全校) (15) | 体育館敷地変更に伴う法令検討委託業務 | |
| (3) 樹木薬剤散布業務 | (6 向小以外) | | (2 向小) |
| (4) 除草他業務 | (向陽小) (16) | GHP 空調機器保守管理業務 | (全校) |
| (5) 樹木剪定業務 | (全校) (17) | 消防用設備等保守点検業務 | (全校) |
| (6) 便器清掃業務 | (全校) (18) | 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | |
| (7) 給水設備器具保守点検業務 | (全校) | | (向陽・5・6 向小) |
| (8) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) (19) | 給食用リフト保守点検業務 | |
| (9) 自家用電気工作物保安管理業務 | (全校) | | (3・4・5・6 向小) |
| (10) 第2留守家庭児童会増築に係る審査会申請業務及び設計業務 | (2 向小) (20) | プールろ過装置保守点検業務 | (全校) |
| (11) 増築工事に伴う図面等作成及び設計意図伝達業務 | (4 向小) (21) | シャッター保守管理点検業務 | (全校) |
| (12) 増築基本実施設計業務 | (4 向小) (22) | 自動ドア保守点検業務 | (向陽小) |
| (13) 増築等に係る許可申請業務 | (4 向小) (23) | エレベーター保守点検業務 | (向陽小) |
| | | 放送設備保守点検管理業務 | (全校) |
| | | 空調室外機定期点検業務 | (全校) |

3 小学校施設整備工事

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) トイレ改修工事 | (4・5 向小) (令和元年度主要事業) |
| (2) 第4向陽小学校校舎及び第4留守家庭児童会増築工事 | (4 向小) (令和元年度主要事業) |
| (3) グラウンド整備工事 | (4 向小) |
| (4) 災害復旧ブロック塀改修工事 | (2・4・5・6 向小) |

(令和元年度主要事業)

・学校施設環境整備事業

子どもたちが快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、第4向陽小学校及び第5向陽小学校校舎内のトイレ改修を実施した。

事業費：21,755,200円

改修内容：便器の洋式化、自動水洗化、照明器具のLED化

・第4向陽小学校増築事業

児童の増加に対応するため、第4向陽小学校教室の増築工事を行った。

事業費：71,688,000円

事業内容：普通教室の増築

10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業（令和元年度主要事業）

児童一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めるとともに、特別支援教育指導員（4 向小・5 向小）の活用や特別支援教育支援員の配置により、きめ細やかな支援を行った。また、全小学校に設置した通級指導教室において、児童の障がいに応じた指導を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	バランスクッション、足台、リンク（玉打ち）
第 2 向 陽 小 学 校	特別支援の漢字教材、サッカーゲーム、漢字イラストカード
第 3 向 陽 小 学 校	ファミリー卓球台セット、運動式時計模型ボード、お金模型
第 4 向 陽 小 学 校	ソフトジャンボサイコロ、特別支援の国語教材、漢字イラストカード
第 5 向 陽 小 学 校	バランス平均台、透明ジオボード、タイムタイマー
第 6 向 陽 小 学 校	ゴーカート

3 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
ワンタッチミニサッカーゴール、ファミリー卓球台セット

4 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	7 人	177,100 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	65	414,570
校外活動費（宿泊を伴うもの）	11	16,879
修学旅行費	8	145,046
給食費	65	1,361,300
合 計		2,114,895

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和元年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	404 冊	151 冊	200 冊	12,252 冊
第 2 向 陽 小 学 校	454	72	200	12,729
第 3 向 陽 小 学 校	430	59	300	10,564
第 4 向 陽 小 学 校	390	105	300	12,487
第 5 向 陽 小 学 校	438	106	200	12,687
第 6 向 陽 小 学 校	433	116	300	10,354
計	2,549	609	1,500	71,073

※ 購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分426冊を含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	実験用たいこセット、デジタル気体測定器、電子式直線ミシン
第2 向陽小学校	地球儀、タンブリン、トライアングル、CDラジオ、デジタル握力計
第3 向陽小学校	ワイヤレスマイク、版画ローラーセット、シンバルスタンド
第4 向陽小学校	直径測定器、CDラジオ、握力計、直方体・立方体の説明セット
第5 向陽小学校	大コンパス、クラベス、ホワイトボード、栄養区分指導板、色彩掛図
第6 向陽小学校	地図記号学習カード、振り子実験器セット、テープ図説明器

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	41 人	2,092,080 円
学用品費等	342	4,958,042
校外活動費（宿泊を伴うもの）	59	164,279
修学旅行費	62	1,153,442
通学費	2	47,920
給食費	340	14,548,355
医療費	22	150,093
合 計		23,114,211

4 府の委託事業

府「学力向上システム開発校」 指定校：第6 向陽小学校

子どもが自分の考えを表現する力の育成を研究主題とし、研究授業や学習環境の整備等の取組を行い、子どもの質の高い学力及び教職員の指導力の向上を図った。

府「O A S I S 校」 指定校：第3 向陽小学校、第4 向陽小学校、第5 向陽小学校

自校の学力状況に基づき、学力の充実・向上を目指す学校独自の取組を行い、教育力の向上と児童生徒の学力向上を図った。

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実に支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

児童の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「K Y O 発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

児童の創造活動を通して豊かな情操を養うために、小学生夏休み作品展を開催した。

10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

① 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 1 年生生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

② 学校給食管理費（学校教育課）

1 中学校給食

令和元年 5 月 1 日現在

学 校 名	給食実施生徒数
勝 山 中 学 校	584 人
西 ノ 岡 中 学 校	367
寺 戸 中 学 校	514
計	1,465

実施方法等

- ・手 法：兄弟方式（学校給食センターから各中学校配膳室へ配送）
- ・献立内容：完全給食、米飯週 5 回、小学校より副食を概ね 1 品プラス
- ・アレルギー対応：除去食対応品目 4 品目（卵、乳、小麦、えび）

2 給食備品の整備

配送用コンテナ、フードスライサー、移動式置台等の給食備品等を購入した。

3 給食設備等保守点検業務委託

- (1) 消防用設備等保守点検業務
- (2) シャッター保守点検業務
- (3) 自動扉保守点検業務
- (4) エアシャワー保守点検業務

4 食中毒防止対策

栄養士等給食関係従事者の保菌検査を実施した。

5 中学校給食調理等業務委託

学校給食センターにおける給食調理、各中学校の配膳室への配送・回収及び、食器類の洗浄等について民間事業者へ委託した。

6 給食費の公会計化

中学校給食費について、教職員の負担軽減等を図るため、市が徴収管理を行う公会計により、口座振替及び納付書による徴収を実施した。

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生生徒に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施
- 6 教職員に対しストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者のうち希望者を対象に医師等による面接指導を実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（教育総務課）

1 中学校施設修繕

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 相談室他空調機修繕 | (寺戸中) |
| (2) 給水揚水管修繕 | (寺戸中) |
| (3) 配膳室ドア修繕 | (寺戸中) |

2 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|--------------------|-------|---------------------|-----------|
| (1) 機械警備業務 | (全校) | (10) GHP空調機器保守管理業務 | (全校) |
| (2) 学校管理業務 | (全校) | (11) 消防用設備等保守点検業務 | (全校) |
| (3) 樹木薬剤散布業務 | (寺戸中) | (12) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | (全校) |
| (4) 除草他業務 | (勝山中) | (13) プールろ過装置保守点検業務 | |
| (5) 樹木剪定業務 | (全校) | | (西ノ岡・寺戸中) |
| (6) 便器清掃業務 | (全校) | (14) シャッター保守管理点検業務 | (全校) |
| (7) 給水設備器具保守点検業務 | (全校) | (15) 放送設備保守点検管理業務 | (全校) |
| (8) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) | (16) 空調室外機定期点検業務 | (全校) |
| (9) 自家用電気工作物保安管理業務 | (全校) | (17) 体育館トイレ改修設計業務 | (西ノ岡) |

3 中学校施設整備工事

- | | | |
|-------------------|-----------|--------------------|
| (1) トイレ改修工事 | (西ノ岡・寺戸中) | (令和元年度主要事業) |
| (2) 災害復旧ブロック塀改修工事 | (勝山中) | |

(令和元年度主要事業)

・学校施設環境整備事業

子どもたちが快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、西ノ岡中学校及び寺戸中学校校舎内のトイレ改修を実施した。

事業費：23,738,400円

改修内容：便器の洋式化、自動水洗化、照明器具のLED化

1 0 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業（令和元年度主要事業）

生徒一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。また、特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	電子辞書、3連スクリーン
西 ノ 岡 中 学 校	タイムタイマー、ころかるたセット、光る声のものさし
寺 戸 中 学 校	つい立て、ジョイント

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	4 人	114,800 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	18	223,200
修学旅行費	6	352,226
給食費	17	369,270
体育実技用具費（柔道）	2	4,900
合 計		1,064,396

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	令和元年度末蔵書冊数
勝 山 中 学 校	501 冊	101 冊	350 冊	18,037 冊
西 ノ 岡 中 学 校	580	38	200	13,120
寺 戸 中 学 校	503	21	200	13,835
計	1,584	160	750	44,992

※ 購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分210冊含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	炭素電極、LED光源装置、直線ミシン、スチームアイロン
西ノ岡中学校	文化箏ソフトケース、冷蔵庫、胎児の大きさ体感モデル
寺戸中学校	直線ミシン、包丁収納庫、顕微鏡対物レンズ、絵画作品乾燥棚

3 吹奏クラブの充実を図るための楽器等の購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	振り子メトロノーム、光ナビキーボード、ティンパニ
西ノ岡中学校	パール、振り子メトロノーム、ピッコロ

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	61 人	3,657,400 円
学用品費等	252	6,385,258
校外活動費（宿泊を伴うもの）	3	24,150
修学旅行費	89	5,110,340
通学費	5	388,300
給食費	247	11,333,334
医療費	13	50,217
体育実技用具費（柔道）	35	167,400
合 計		27,116,399

5 府の委託事業

府「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」 実践研究指定校：勝山中学校

子どもの学習意欲や学力の向上及びふるさとへの愛着を深めることを研究主題とし、地域と連携した補充授業等を行い、地域に根ざした特色ある学校づくりを実践した。

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業や部活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

生徒の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を育成した。

「ＫＹＯ発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

弁論大会、英語スピーチ大会及び中学生美術展・書道展を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

4 マーチングバンド備品購入

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部用に楽器等を購入した。

主 な 購 入 備 品 名
トロンボーン用スタンド、トライアングル、チューバススタンド

1 0 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

1 社会教育委員 12人（男6人、女6人） ※平成31年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日・会場	内 容
1	5月17日(金) 午後2時～午後3時40分 市役所 第7会議室	・役員の選出について ・令和元年度社会教育関係事業計画について ・令和元年度社会教育委員関係の事業予定について
2	7月26日(金) 午前10時～午前11時 図書館 研修室	・令和元年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について ・令和元年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告 ・令和元年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について
3	11月7日(木) 午後1時30分 ～午後3時15分 第5向陽小学校 会議室	・第61回全国社会教育研究大会兵庫大会 （令和元年度近畿地区社会教育研究大会）参加報告について ・人権研修会の報告及び実施について ・スポーツ推進計画の策定スケジュールについて ・研修 第5向陽小学校放課後児童サポート事業の見学
4	2月6日(木) 午後2時～午後3時30分 市役所 第7会議室	・令和元年度社会教育関係事業報告について ・令和2年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について ・令和2年度社会教育指導の重点（案）について ・向日市スポーツ推進計画の策定について

3 各種研修会・大会

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6月11日(火) 午後1時30分～午後4時	向日市文化資料館	5人
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6月28日(金) 午後1時30分～午後4時30分	京田辺市中央公民館	5人
全国（近畿地区） 社会教育研究大会「兵庫大会」	10月24日(木) 午後0時15分～午後5時	神戸ポートピアホテル	4人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 研修会	2月27日(木) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	乙訓総合庁舎	－人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

自らの知識、技能等を市民の学習活動に役立てる熱意のある方及び団体に指導者として登録していただき、希望する市民が活用できるよう市ホームページで周知に努めた。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるよう、広報活動等の支援を行った。（合計8講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報（前・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を計3回発行した。

2 人権教育

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため、研修会を2回開催した。

	開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
1	8月10日(土) 午前10時 ～午後0時	福祉会館 大会議室	講演 「今日における部落問題への取組の 意義と課題について」	京都大学 名誉教授	24 人
2	11月20日(水) 午後7時 ～午後9時	福祉会館 大会議室	講演 「L G B Tを知る」	N P O法人 Q W R C 共同 代表・理事	58 人

3 各種講座・研修会

(1) 地域学校協働活動推進事業コーディネーター等研修会

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
3月4日(水) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市役所 大会議室	研修・交流協議 講演「心の窓を少し開くことから」 ～人権教育は、幸せの追求である～ 交流協議 「地域と学校の連携・協働の効果と課題」	関西外国語 大学教授・ 人権教育思想 研究所長	－ 人

(2) 家庭教育講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
12月23日(月) 午後7時 ～午後8時30分	福祉会館 大会議室	講演 「笑顔の子育て講座 ～この話を聞くとわが子の やる気が変わります！～」	こどもコンサル タント	61 人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

・市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) ジュニア・リーダー養成講座

ア 実施日及び内容

実施日	内 容	会 場
6月16日(日)	開講式(説明、班分け、ゲーム)	第1留守家庭児童会
8月25日(日)	水遊び	第6留守家庭児童会 野外炊飯施設前
10月27日(日)	飯ごう炊さん	第6向陽小学校 野外炊飯施設
11月24日(日)	ピクニック	大蛇ヶ池公園
12月22日(日)	クリスマス会(調理実習、プレゼント交換)	第6向陽小学校 家庭科室
2月2日(日)	スポーツ交流会	向陽小学校 体育館
3月7日(土)	閉講式 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	向日市福祉会館 大会議室

イ 参加者 市内の小学5、6年生及び中学生 22人

(2) 放課後児童サポート事業（京のまなび教室推進事業）

全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保し、授業終了時刻から下校時刻までの時間に、低学年児童が学校で友達と自由に遊びながら、体力づくりや仲間づくりをすることによって、心身ともに健康な児童を育てよう実施した。

ア 実施回数 114回
イ 会 場 市内全小学校
ウ 内 容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書室での読み聞かせ、教室での学習支援 など
エ サポーター 遊び・学習サポーター、安全サポーター
オ 対 象 者 1～2年生児童（2向小のみ1～6年生の希望者による学習支援を実施）

(3) 地域学校協働活動推進事業

地域学校協働本部を中心として、地域住民や保護者、地域ボランティアなどの知識や経験、能力、技術を子どもの成長や学校の教育に生かせるようコーディネートし、地域全体で子どもが健やかに育まれる環境づくりと地域の教育力の向上を目指して実施した。

ア 実施場所 向陽小学校、第2向陽小学校、第3向陽小学校、第4向陽小学校
第5向陽小学校、第6向陽小学校、勝山中学校、西ノ岡中学校、寺戸中学校
イ 本部委員 50人（男18人、女32人）
ウ 内 容 学習支援、環境整備、読書活動支援など

(4) 野外炊飯施設使用状況

使用回数

（単位：回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	—	2	—	1	1	1	1	—	—	—	1	—	7

(5) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

ア 実施日 3月20日（金・祝） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部
西ノ岡中学校吹奏楽部
寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部
京都府立向陽高等学校吹奏楽部
京都西山高等学校吹奏楽部
京都管楽合奏団 ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会をはじめ、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実 施 日	内 容
学校の長期休業日	少年補導の地区ごとに夜間パトロール、各支部パトロール延べ549人参加（うち8月3日市内一斉パトロール98人参加）
随 時	重点地区パトロール

(2) 環境浄化活動

青少年の健全な育成に関する条例に基づき、有害図書類・有害玩具刃物類等の販売等により、青少年の健全な育成を阻害するおそれがあることから、図書類取扱店及び有害玩具・刃物類取扱店について調査を実施した。

主な取組

実 施 日	内 容
7月26日（金）	少年を非行から守る全国強調月間として環境浄化立ち入り調査を実施（6人） 図書類取扱店及び玩具刃物類取扱店を対象に実態調査

(3) 啓発活動

広報「むこう」（7月号）に啓発文を掲載

(4) 子ども会育成者説明会（総会時）

ア 実施日 4月14日(日)

イ 会 場 寺戸公民館 大会議室

ウ 内 容 向日市子ども会の概要、子ども会関係団体について、子ども会育成連絡協議会
主管事業について

3 成人式

(1) 実施日 1月13日(祝・月)

(2) 会 場 イオンモール京都桂川3階 イオンシネマ

(3) 内 容 式典

アトラクション：思い出のスライドショー・ビデオレター

佛教大学よさこいサークル「紫踊屋」よさこい演舞

交流の時間

(4) 出席者 成人410人 (対象者556人) 来賓46人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会	400,000円
--------------------	----------

(2) 向日市少年補導委員会	500,000円
----------------	----------

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会	200,000円
---------------------	----------

(4) 物集女青少年健全育成会議	20,000円
------------------	---------

1 0 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

(1) 講 座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
ふしぎ発見！ 理科教室 （3回）		小学校4 ～6年生		理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学んだ。
	① 6月8日（土）	35人	京都技術士会	おいしい水を作ってみよう
	② 7月7日（日）	42人	京都技術士会	空気と水の不思議をさぐる
	③ 8月4日（日）	29人	京都技術士会	手作りマイクを作ろう
夏休み 子ども体験講座	7月29日（月）	33人	日本電産（株）本社・中央開発技術研究所の皆さん	日本電産（株）本社・中央開発技術研究所見学会
子ども ふれあい講座	8月1日（木）	29人	中央公民館長	「将棋が強くなる！」教室
市民教養講座	10月31日（木）	34人	ドコモショップ向日店スタッフ	シニアのためのスマートフォン講座
	1月31日（金）	36人	ドコモショップ向日店スタッフ	シニアのためのスマートフォン講座
	12月1日（日）	23人	京都府立大学教授	万葉集の世界をあじわう
	12月25日（水）	20人	近畿財務局 京都財務事務所職員	ゲームで楽しく親子で学ぼう！ おこづかいの使い方講座
市民健康講座	3月22日（日）	9人	京都府立医科大学 准教授	腸から考える健康長寿
国際理解講座	2月22日（土）	14人	小学校外国語 指導講師	魅力いっぱいフィリピン
市民文化講座	5月19日（日）	80人	歌舞伎役者	歌舞伎への誘い ～歌舞伎の女形と一緒に 歌舞伎を楽しもう～

(2) 展示・発表

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	会場	内 容
市民文化展	9月28日（土） ～10月2日（水）	市民、在勤、 在学15歳以上 出品者 100人 来場者 774人	イオンモール京都桂川 イオンホール	市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。

1 0 教育費 4 社会教育費 3 地区公民館費

① 地区公民館費（中央公民館）

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

講座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	趣味・教養講座 よろしおすえ 京ことば	9月19日(木)	10人	京ことばの会 会員
	教養講座 楽しく学ぶ干支剪画教室	11月21日(木)	20人	剪画作家
	趣味・教養講座 寄せ植えを楽しもう	12月10日(火)	30人	園芸店スタッフ
	健康講座 介護予防体操	11月9日(土)	14人	介護福祉士
物 集 女	健康講座 ヨガを体験しませんか	11月25日(月)	15人	ヨガインストラクター
森 本	健康講座 ヨガを体験しませんか	11月25日(月)	15人	ヨガインストラクター
鶏 冠 井	趣味・教養講座 お正月の寄せ植え	12月17日(火)	25人	園芸店スタッフ
上 植 野	趣味・教養講座 金箔手工芸	11月29日(金)	18人	金箔手工芸家

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺 戸	物 集 女	森 本	鶏 冠 井	上 植 野	計
クラブ数	40	5	15	9	10	79
部 員 数	526人	84人	193人	215人	128人	1,146人

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表（展示の部）

公民館名	実 施 日	展示・掲示発表 ク ラ ブ 数	クラブ員数	発表内容
寺 戸	2月29日(土)・3月1日(日)	12	128人	展示発表 302点
物 集 女	2月1日(土)・2日(日)	5	90人	活動紹介 3団体 体験会 2団体
森 本	2月22日(土)・23日(日)	11	139人	展示発表 52点 活動発表 5団体
鶏 冠 井	2月15日(土)・16日(日)	9	222人	展示発表 176点 活動発表 3団体
上 植 野	2月8日(土)・9日(日)	3	23人	展示発表 170点

3 地区公民館使用状況

(単位：回、人)

公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
利用回数	1,592	432	503	329	473	3,329
利用人数	18,567	6,414	8,262	4,369	6,126	43,738

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文化財調査事務所）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 市域に所在する指定文化財等

令和2年3月31日現在

令和2年5月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物					伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	文化的景観				
件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料													
		仏像	石造物																	
国	指定	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	
	登録	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
府	指定	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	暫定登録	0	0	0	0	0	7	17	7	0	2	0	1	0	0	0	0	0	34	
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27	
合計		28	29	7	1	3	14	25	8	0	3	2	5	0	0	1	0	0	97	

2 有形文化財の保護

(1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

令和2年1月23日～29日（令和2年1月26日（日）は、「第66回文化財防火デー」）に次の運動を行った。

- ア 広報活動 広報紙による啓発と併せ、市庁舎及び社寺に看板設置。
- イ 消防訓練 1月27日（月）、南真経寺にて実施予定であったが雨天のため中止。
- ウ 立入検査 1月27日（月）及び30日（木）、指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。

(2) 有形文化財を活用した文化活動の振興を図るため、文化活動等への補助を行った。

国登録有形文化財 中小路家住宅 40,000円

(3) 向日市文化財保護事業補助金事業

社寺及び民間所有の指定文化財及び登録文化財等の維持管理経費への補助を行った。

ア	向日神社本殿（国指定重要文化財）	防災設備維持管理・修理等	200,000円
イ	中小路家住宅（国登録有形文化財）	修理等	146,000円
ウ	須田家住宅（府指定建造物）	防災設備維持管理等	24,000円
エ	南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物）	防災設備維持管理等	23,000円

3 無形民俗文化財の保護

無形民俗文化財の保存団体に、文化財の保存と後継者育成に対し補助を行った。

ア	京都府指定無形民俗文化財 鶏冠井題目踊	35,000円
イ	向日市指定無形民俗文化財 鶏冠井シャナンボウ	35,000円

4 記念物の保護

(1) 史跡乙訓古墳群史跡等買上事業（令和元年度主要事業）

史跡乙訓古墳群の内、五塚原古墳及び寺戸大塚古墳を適切に保護するために公有化を図った。

ア	買上地	五塚原古墳、寺戸大塚古墳
イ	買上面積等	7筆、32,527.89㎡ 五塚原古墳 3筆 28,147.75㎡ 寺戸大塚古墳 4筆 4,380.14㎡
ウ	買上価格	201,733,794円 五塚原古墳 164,008,140円 寺戸大塚古墳 37,725,654円

エ 買上方法 起債による先行取得

オ 関連事業

(ア) 史跡乙訓古墳群不動産鑑定業務

a	内 容	五塚原古墳・寺戸大塚古墳用地買上事業に係る不動産鑑定評価
b	期 間	令和元年7月30日～令和元年9月13日
c	委 託 先	みのり不動産鑑定 ニッソー鑑定京都株式会社 一般社団法人日本不動産研究所京都支所
d	委 託 料	1,635,120円

(イ) 史跡乙訓古墳群補償調査業務委託

a	内 容	五塚原古墳・寺戸大塚古墳用地買上事業に係る補償調査等
b	委託期間	令和元年9月6日～令和元年12月27日
c	委 託 先	(株) かんこう
d	委 託 料	2,379,300円

(ウ) 史跡乙訓古墳群分筆測量業務委託

a	内 容	五塚原古墳・寺戸大塚古墳用地取得に伴う分筆測量等
b	工 期	令和元年8月6日～令和2年3月31日
c	委 託 先	(株) かんこう
d	委 託 料	495,000円

(2) 史跡長岡宮跡保存活用計画

市内史跡の適切な保存と活用の促進のため、史跡長岡宮跡保存活用計画の策定事業を行った。

ア 史跡長岡宮跡保存活用計画策定委員会 委員数 9人

第1回 開催日時 令和元年12月16日（月）午後2時～午後4時

開催場所 向日市役所 大会議室

内 容 開催趣旨説明

委員紹介（委嘱状交付について）

役員の選任について

議 題 保存活用計画策定の目的と委員会について

長岡宮跡の保存と活用経過について

計画策定範囲の決定について

第2回 開催日時 令和2年1月31日（金）午後2時～午後4時

開催場所 向日市立図書館 研修室

議 題 保存活用計画に係る名称及び所在の場所の確認について

史跡長岡宮跡全体、個別指定地の現状と課題について

保存及び活用のために行う具体的な措置の内容について

第3回 開催日時 令和2年2月25日（金）午後2時～午後4時

開催場所 寺戸公民館 大会議室

報 告 第2回委員会以降の保存活用計画について（事務局）

文化庁文化財部における計画書のヒアリングと計画認定について

議 題 京都府文化財大綱と史跡長岡宮跡保存活用計画

史跡長岡宮跡保存活用計画報告書について

史跡長岡宮跡の保存及び活用のために行う具体的な措置の内容について

史跡長岡宮跡保存活用計画の承認について

最終回として、これまでの保存活用計画について総括するとともに、報告書の内容を確認し最後に委員長から教育委員会に「史跡長岡宮跡の保存及び活用のために行う具体的な措置の内容について」が提言され、計画内容の承認を得た。

イ 計画期間 令和2年4月1日～令和12年3月31日 （10年間）

ウ 製本部数 300冊

(3) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

ア 内 容 市内には国・府及び市指定史跡などの遺跡11か所の保存・維持について、除草等の各種の維持管理事業を実施。

イ 期 間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

ウ 委 託 先 （公財）向日市埋蔵文化財センター

エ 委 託 料 2,098,256円

史跡指定地一覧表

史跡長岡宮跡

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態							整 備 状 況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大 極 殿 ・ 小 安 殿 地 区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・菰所	0.00	2,510.61	557.22	0.00	0.00	0.00	0.00	3,067.83	3,067.83	0.00	0.00	3,067.83
	内裏内郭築地回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築 地 地 区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝 堂 院 西 第 四 堂 地 区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝 幢 地 区	平成11年1月14日		菰所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	間 門 地 区	平成14年3月19日		菰所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	間門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日	野上町植	菰所・山畑	0.00	0.00	1,213.87	0.00	0.00	572.79	0.00	1,786.66	922.34	0.00	864.32	1,786.66
	大 極 殿 東 面 回 廊 地 区	平成22年2月22日	鶏冠井町	南開	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
	大 極 殿 西 ・ 北 面 回 廊 地 区	平成26年3月18日		大極殿	0.00	0.00	1,684.81	0.00	0.00	1,082.18	0.00	2,766.99	0.00	0.00	2,766.99	2,766.99
	内裏内郭築地回廊、外郭築地区	平成28年10月3日		東井戸・菰所	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	1,410.73	1,410.73
	大極殿北面回廊地区L	平成31年2月26日		大極殿	0.00	0.00	28.07	0.00	0.00	0.00	0.00	28.07	28.07	0.00	0.00	28.07
	計					323.96	3,676.59	9,406.02	0.00	0.00	2,307.95	0.00	15,714.52	8,671.92	741.74	6,300.86

史跡乙訓古墳群

(単位：㎡)

名称	指定年月日	所在地	小字	史 跡 の 所 有 形 態								整 備 状 況			
				国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
五塚原古墳	平成28年3月1日 (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山古城	0.00	0.00	35,676.84	0.00	0.00	262.94	1,302.44	37,242.22	0.00	0.00	37,242.22	37,242.22
元稲荷古墳	平成28年3月1日	向日町	北山	0.00	2,069.96	6,442.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,511.96	0.00	0.00	8,511.96	8,511.96
寺戸大塚古墳	平成27年3月10日 (平成28年3月1日追加) (平成31年2月26日追加)	寺戸町	芝山	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	0.00	0.00	4,380.14	0.00	0.00	4,380.14	4,380.14
南条古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	656.23
物集女車塚古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	1,911.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,911.00	1,911.00	0.00	0.00	1,911.00
計				0.00	0.00	48,409.98	0.00	656.23	262.94	1,302.44	52,701.55	1,911.00	0.00	50,790.55	52,701.55

5 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知を審査し、その他各種の調査を実施した。

- ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 51 件
- イ 建築確認申請に係る文化財審査 267 件
- ウ 届出書受理件数 294 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）
- エ 通知書受理件数 21 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）
- オ 発掘調査件数 19 件 1,823.50 m²
（「令和元(2019)年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）
- カ 工事立会件数 248 件
- ※ オ、カの業務は、（公財）向日市埋蔵文化財センターに委託して実施した。

(2) 埋蔵文化財の保存と整備（各種の調査、報告、広報、普及など）

埋蔵文化財の保存と各種の調査及び資料収集等を実施した。

- ア 国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業 20,389,104 円
- イ 向日市単独事業 2,158,200 円
- ウ 原因者負担金事業 29,801,919 円

（公財）向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託

エ 令和元年度埋蔵文化財調査

(ア) 埋蔵文化財発掘調査地一覧表

令和元（2019）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
	遺跡名	調査回数	調査地	調査原因 (土地所有者等)	調査期間	面積 (m ²)	出土 遺物数 (箱)	備考
1	長岡宮跡	第528次	寺戸町中野	法人開発	19.06.05～19.06.18	48.00	0	
2	長岡宮跡	第529次	寺戸町中野	向日市	19.08.19～19.09.20	600.00	2	
3	長岡宮跡	第530次	寺戸町東ノ段	個人開発	19.10.10～19.10.21	16.00	2	※
4	長岡宮跡	第531次	寺戸町西野辺	法人開発	19.10.15～19.10.23	28.00	1	※
5	長岡宮跡	第532次	寺戸町南垣内	法人開発	19.11.28～19.12.05	30.00	1	※
6	長岡京跡	左京第609次	鶏冠井町石橋21	法人開発	19.05.20～19.06.07	96.00	2	※
7	長岡京跡	左京第611次	鶏冠井町十相	法人開発	19.07.09～19.08.09	60.00	4	※
8	長岡京跡	左京第612次	鶏冠井町十相	法人開発	19.07.09～19.08.09	60.00	6	※
9	長岡京跡	左京第614次	鶏冠井町馬司	法人開発	19.11.25～19.11.29	30.00	3	※
10	長岡京跡	左京第615次	鶏冠井町十相	法人開発	19.12.09～19.12.25	67.00	1	
11	長岡京跡	左京第616次	森本町佃	法人開発	20.01.21～20.02.06	44.50	1	※
12	長岡京跡	右京第1200次	上植野町地後	法人開発	19.12.02～19.12.13	40.00	3	
13	長岡京跡	右京第1203次	上植野町切ノ口	法人開発	20.01.27～20.02.14	120.00	2	
14	長岡京跡	右京第1207次	寺戸町西野	法人開発	20.02.03～20.02.21	56.00	1	
15	長岡京跡	右京第1210次	寺戸町西野	個人開発	20.03.09～20.03.19	30.00	6	※
16	渋川遺跡	第19次	寺戸町東田中瀬	法人開発	19.04.18～19.04.25	30.00	1	※
17	渋川遺跡	第20次	寺戸町東田中瀬	法人開発	19.06.17～19.07.05	97.00	3	
18	久々相遺跡	第13次	寺戸町瓜生	向日市	19.06.03～19.07.05	140.00	6	
19	中海道遺跡	第75次	物集女町中条	個人開発	19.07.29～19.09.13	231.00	1	
合計						1,823.50	46	
※：国庫補助対象事業						一発掘調査あたりの平均	95.97	2.4

無印：民間開発等原因者負担金による事業(市公共事業を含む)

(イ) 発掘調査面積は、1件平均95.97m²である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第114集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第115集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第116集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第117集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

(公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託等を行った発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 市内埋蔵文化財調査出土遺物の保存と整理

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存化学処理業務

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した青銅製品の変形や腐食を防ぎ、向日市文化資料館等で展示したり、活用できるようにするため。

(イ) 処理方法 樹脂含浸法

(ウ) 委託期間 令和元年6月11日～令和元年9月30日

(エ) 点数 長岡京跡出土銭貨 50点

(オ) 委託先 (株) 文化財サービス

(カ) 委託料 498,960円

イ 長岡京跡ほか出土遺物整理業務

(ア) 目的 飽和状態にある文化財調査出土遺物を整理・分類し、収蔵庫を適正に管理するとともに、公開活用に供するため。

(イ) 業務内容 出土遺物のランク分け及び台帳・目録の作成等を行った。

(ウ) 委託期間 令和元年7月3日～令和元年9月30日

(エ) 点数

(コンテナ)

ランク	コンテナ数	
	平成30年度事業分	総数
A	5 箱	2,524 箱
B	8 箱	1,719 箱
C	3 箱	1,549 箱
D	28 箱	6,130 箱
計	44 箱	11,922 箱

(遺物)

ランク	遺物量	
	平成30年度事業分	総数
A	128 個	26,438 個
B	253 個	46,088 個
計	381 個	72,526 個

A：将来にわたり保存・活用の必要性・可能性のある出土品で、活用度のきわめて高いもの

- ①報告書に出土品の詳細を記した記載があること。
- ②報告書に実測図が掲載されていること。
- ③報告書に出土品の写真図版があること。
- ④完形品又は欠損部分を補填した復元品であること。
- ⑤すぐに文化資料館で展示できること。
- ⑥上記①～⑤の条件をすべて満たしていること。

B：Aの区分に次ぐもの

- ①上記A①～⑤の条件を満たさないもの
※特に欠損部分を復元していない出土品が多い。
※展示の都合により、復元し完形品となった場合はAにランクを上げる。

C：Bの区分に次ぐもの

- ①上記A①～⑤の条件を満たさないもの
- ②報告書の詳細記載はないが、集計的に引用されたり、統計が取られているもので、実測図等がなくても具体的に原資料と調査担当者以外でも抽出できるもの。
※土器の口径が原則1/8以上のもの。
※区分後、3年間、展示・閲覧等活用しない場合はDランクに下げる。

D：活用の可能性がないもの又は活用の可能性が極めて低いもの

(オ) 委託先 (株) 文化財サービス

(カ) 委託料 432,000円

6 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓2市1町の教育委員会、(公財)向日市埋蔵文化財センター、(公財)長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成し、情報交換及び相互の連絡調整を図るためのものである。令和元年度は、大山崎町教育委員会が代表幹事を務めた。

(2) 協議会

情報交換、連絡調整及び「スライドでみるおとくにの発掘」の準備のための協議会を2回実施した。

(3) 「スライドでみるおとくにの発掘」

令和2年3月8日(日)に大山崎町ふるさとセンターにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

7 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金
史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務

イ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護意識の向上を図るため。

ウ 開催日 令和元年5月22日～5月31日

エ 場所 物集女車塚古墳

オ 見学者 見学者428人 1日平均42.8人

カ その他 一般公開日以外も、見学を希望する団体には、臨時に石室を公開して説明を実施した。
7団体 403人

番号	臨時公開日	団体名	見学者数
1	6月10日(月)	桂高等学校	18人
2	6月13日(木)	第5向陽小学校	40人
3	7月12日(金)	第2向陽小学校	96人
4	8月10日(土)	京都教育委員会 1DAYバスツアー	30人
5	10月18日(金)	京都SKY 乙訓ブロック	40人
6	11月17日(日)	向日市健康ウォーク	153人
7	12月16日(月)	立命館高校	26人
合 計			403人

(2) 「墳タビ！ 物集女車塚古墳」ダウンロード者数

月	ダウンロード数	月	ダウンロード数
4月	34人	10月	22人
5月	69人	11月	20人
6月	36人	12月	18人
7月	49人	1月	13人
8月	37人	2月	20人
9月	25人	3月	84人
		計	427人

平成28年度 248人

平成29年度 3,533人

平成30年度 364人

令和元年度 427人 累計 4,572人

(3) 古代衣装の貸出

長岡京時代の衣装（雑色3、女官3）を朝堂院公園に常備し、来園者に貸し出すほか、イベントの際には、史跡案内員等が着用し、史跡の解説等を行った。

貸し出し人数 36人

(4) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出等

(5 機関に43点の資料を貸出)

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	大阪歴史博物館	4	常設展示「難波宮の時代」出展
2	京都府立山城郷土資料館	3	常設展示「南山城の歴史と文化」出展
3	(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	9	企画展「発掘された京都の歴史2019 まぼろしの古代寺院」出展
4	和歌山県立紀伊風土記の丘	7	企画展「開かれた棺-紀伊の横穴式石室と黄泉の世界-」出展
5	(公財) 向日市埋蔵文化財センター	4	公益財団法人向日市スポーツ文化協会主催の勾玉づくりの教材に使用
		8	小学校へ出張講座に使用
		8	調査研究成果展 「彩発見！古墳・王宮・城館」出展
計		43	

イ 写真資料提供、掲載等

(9 機関に48点を提供)

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	報道機関	5	朝日放送テレビ「ココイロ」に掲載
2	出版社	1	『シリーズ古代史をひらく 古代の都』『長岡京から平安京へ』に掲載
3	出版社	24	『週刊 日本の城』第151号に掲載
4	出版社	1	株式会社文溪堂「『社会科資料集』2020年版 全国版 5年」に掲載
5	出版社	3	JR西日本、Yahoo! JAPANのホームページ内のおでかけ情報ホームページに掲載
6	出版社	2	『月刊 文化財』令和2年5月号（「古墳の保存・活用の時間・空間」特集）に掲載
7	小松市埋蔵文化財センター	1	特別展「海の道・陸の道～拠点集落から加賀国府～」に掲載
8	大阪歴史博物館	5	講演会「大阪の歴史を掘る2019」の資料等に掲載
9	文化庁	6	「先端技術による文化財活用ハンドブック」掲載
計		48	

ウ 資料見学等

(7機関に182点の資料を提供)

番号	機 関 名 等	点 数	用 途
1	京都大学文化財総合研究センター	8	調査研究
2	和歌山県立紀伊風土記の丘	5	資料の閲覧
3	個人	115	調査研究
4	奈良大学	19	調査研究
5	龍谷大学	12	調査研究
6	宮内庁	2	調査研究
7	市立市川考古博物館	21	調査研究
計		182	

(5) 文化財の普及・啓発

ア 事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

史跡長岡宮跡ほか地域の特色ある埋蔵文化財活用業務

イ 目的 朝堂院公園での案内をはじめ、展示や講演会、考古学講座などを一体的に実施し、市民の参加や史跡等の活用の機会を増やし文化財保護への理解を深めるとともに、文化遺産を生かした観光振興・地域活性化を目指すため。

ウ 業務 (公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託

エ 内容

(7) 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

文化財案内員を配置、史跡の管理、説明等を行った。(案内員6人)

(案内員が説明した人数)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	月	稼働日数	利用者数	1日平均
4月	29日	1,106人	38.14人	10月	30日	1,182人	39.40人
5月	30日	733人	24.43人	11月	30日	988人	32.93人
6月	30日	599人	19.97人	12月	27日	529人	19.59人
7月	31日	325人	10.48人	1月	26日	384人	14.77人
8月	26日	222人	8.54人	2月	29日	556人	19.17人
9月	30日	400人	13.33人	3月	31日	482人	15.55人
計					349日	7,506人	21.51人

平成22年度	3,702人	平成27年度	8,218人
平成23年度	6,691人	平成28年度	10,555人
平成24年度	5,857人	平成29年度	9,195人
平成25年度	6,016人	平成30年度	8,455人
平成26年度	6,645人	令和元年度	7,506人
		累計	72,840人

(AR長岡宮の体感者数)

月	ダウンロード数	タブレット貸出利用者数	計	月	ダウンロード数	タブレット貸出利用者数	計
4月	50人	16人	66人	10月	49人	34人	83人
5月	59人	14人	73人	11月	43人	25人	68人
6月	30人	223人	253人	12月	36人	9人	45人
7月	22人	13人	35人	1月	27人	4人	31人
8月	52人	8人	60人	2月	33人	7人	40人
9月	25人	2人	27人	3月	211人	5人	216人
				計	637人	360人	997人

平成26年度 2,987人
 平成27年度 2,243人
 平成28年度 4,474人
 平成29年度 4,680人
 平成30年度 1,133人
 令和元年度 997人

累計 16,514人

(イ) 市民考古学講座「戦国の争乱と西岡・物集女城」

テーマ		開催日 開催地等	内 容	参加者
1	「京都・西岡の自然景観変遷史」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	令和元年6月15日(土) 文化資料館研修室	講座	59人
2	「城館誕生前夜-交錯する王権と地域権力」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	令和元年7月20日(土) 文化資料館研修室	講座	64人
3	「物集女氏と物集女城・西岡の中世城館」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	令和元年11月9日(土) 文化資料館研修室	講座	130人
4	「発掘、上植野城～秋田氏の小畑川普譜と惣構～」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)			
5	「発掘、物集女城～物集女氏の戦略とくらし～」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	令和元年12月21日(土) 文化資料館研修室	講座	69人
見学会	「西岡の中世城館を訪ねて」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	令和元年10月26日(土) 阪急洛西口駅～勝龍寺城	講座	37人
講演会	「地図から読む戦国西岡の城館」 (講師 京都大学大学院教授)	令和元年9月14日(土) 文化資料館研修室	講演会	110人
計				469人

(6) 調査研究成果展『彩発見！古墳・王宮・城館』

ア 期 間 令和元年9月7日(土)～令和元年10月14日(月・祝)
 イ 場 所 向日市文化資料館
 ウ 来館者数 2,332人
 エ 講演会
 (ア) 開催日 令和元年9月21日(土)
 (イ) 場 所 文化資料館研修室
 (ウ) 内 容 「五塚原古墳第10次調査の調査成果」(講師(公財)向日市埋蔵文化財センター)
 「前方後円墳の出現」(講師 立命館大学名誉教授)
 (エ) 参加者 110人

(7) 「史跡めぐり 大発見向日市～向日丘陵の古墳を歩く～」

市内7か所の史跡等をめぐる自由参加型のスタンプラリーを行った。全参加者に、遺跡解説冊子を配布し、またチェックポイントを5箇所を通過した参加者には完歩賞として、ポスターカードを授与した。

ア 開催日時

令和2年2月22日(土) 午前10時から午後3時

イ チェックポイント

スタート 阪急東向日駅、長岡宮跡朝堂院公園

ゴール 物集車塚古墳、長岡宮跡朝堂院公園

コース 長岡宮跡朝堂院公園、元稲荷古墳、五塚原古墳、伝高島陵古墳、
寺戸大塚古墳、南条古墳、物集車塚古墳

ウ 参加者

120人

(8) 復元体感具学習会開催業務

史跡長岡宮跡の適切な保全と広報普及等の利用促進のため、空気で膨らませることができる塩化ビニル製の朝堂院西第四堂「ふわふわ！朝堂in」を用い、案内解説を行った。

ア 開催日・場所

第1回 令和元年10月10日(木) 朝堂院公園

第2回 令和元年10月11日(金) 朝堂院公園

第3回 令和2年1月9日(木) 向日市民体育館

第4回 令和2年2月22日(木) 朝堂院公園 ※史跡めぐりと同時開催

イ 対象年齢

3歳以上から小学6年生以下まで

ウ 参加者

336人

(9) 向日市の文化遺産シリーズ翻訳及び版下作成業務委託

ア 内 容 向日市の文化遺産①むこうし歴史探検マップ③長岡宮⑦五塚原古墳の日本語パンフレットを英語への翻訳等。

イ 委託期間 令和元年7月29日～令和元年9月30日

ウ 委託先 東京反訳株式会社

エ 委託料 400,680円

8 文化財保護団体の育成

ア 大極殿遺蹟保存協賛会 40,000円

イ 森本遺蹟保存会 19,000円

ウ 物集女城を考える会 19,000円

10 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

（単位：人）

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）										
	元年度							30年度	29年度	28年度	27年度
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
第 1	35	38	22	18	10	0	123	126	109	124	94
第 2	23	34	27	12	12	7	115	129	123	107	92
第 3	20	14	13	12	6	3	68	77	80	76	75
第 4	39	36	30	10	1	1	117	124	126	103	107
第 5	30	41	29	15	4	3	122	117	105	89	95
第 6	17	12	9	8	0	1	47	63	69	60	60
合 計	164	175	130	75	33	15	592	636	612	559	523

留守家庭児童会保護者協力金調定額 （現年度分）	令和元年度 36,096,700円	平成30年度 38,114,800円	平成29年度 37,668,100円	平成28年度 34,421,200円
----------------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

留守家庭児童会	指導員・嘱託指導員数	アルバイト数（加配）	施 設
第 1	6 人	2 人	鉄骨造 297.00㎡
第 2	6	4	〃 167.51
第 3	4	4	〃 175.31
第 4	6	3	〃 200.81
第 5	5	2	〃 287.67
第 6	3	3	〃 111.78
合 計	30	18	

（令和元年5月1日現在）

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、研修会を実施した。

実 施 日	研 修 内 容	活 動 場 所
5月29日（水）	配慮を要する児童の育成支援について	福祉会館
6月11日（火）	救急講習	市役所大会議室
6月26日（水）	児童虐待防止について	第1留守家庭児童会
7月3日（水）	不審者対応について	第1留守家庭児童会
10月9日（水）	子どもの育成支援について	第1留守家庭児童会
11月13日（水）	障害のある児童の育成について	第1留守家庭児童会
12月23日（月）	臨時指導員研修（家庭教育講座）	福祉会館
2月19日（水）	救命救急講習	向日消防署

3 第2・第4留守家庭児童会増築事業（令和元年度主要事業）

第2留守家庭児童会及び第4留守家庭児童会の増築事業を行った。

4 民間放課後児童健全育成事業費補助事業（令和元年度主要事業）

趣旨	事業者
本市に届出のあった放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者に対し、事業費の一部を補助するもの。	1 団体

10教育費 4社会教育費 6図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ、廃棄状況

(1) 図書、聴覚資料

(単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	C D	カセット	レコード	合 計
購 入	2,623	1,374	60	0	0	4,057
寄 贈	222	47	0	0	0	269
その他	80	86	3	0	0	169
廃 棄	665	331	20	0	0	1,016
合 計	2,260	1,176	43	0	0	3,479

(2) その他の資料

	雑 誌 (種)	雑 誌 (冊)	新 聞 (種)
購 入	62	871	8
寄 贈	10	124	2
そ の 他	-	0	-
合 計	72	995	10

※寄贈には雑誌スポンサー分を含む。

2 資料所蔵状況

(1) 図 書

(単位：冊)

	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
総 記	4,150	372	4,522
哲 学 ・ 宗 教	4,133	246	4,379
歴 史 ・ 地 理	13,325	1,777	15,102
社 会 科 学	19,104	1,569	20,673
自 然 科 学	8,262	3,577	11,839
技 術 ・ 家 政 学	9,115	1,343	10,458
産 業	3,540	717	4,257
芸 術 ・ ス ポ ー ツ	10,619	1,491	12,110
言 語	2,061	485	2,546
文 学	19,747	18,634	38,381
近 代 小 説	30,218		30,218
外 国 の 本	581	129	710
絵 本		20,434	20,434
紙 芝 居		1,457	1,457
長岡宮跡関係	135		135
向日市関連	405	69	474
ヤングアダルト	840	782	1,622
合 計	126,235	53,082	179,317

(2) 聴覚資料 (単位：点)

資 料 名	所 蔵 数
C D	4,609
カセットテープ	1,150
レ コ ー ド	18
合 計	5,777

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数 (単位：冊、点、日)

合 計	一般図書	児童図書	雑 誌	聴覚資料	他館借用 資 料	開館日数	平 均		
							1日当たり	土日	祝日
296,596	147,221	124,828	10,603	12,597	1,347	277	1,071	1,568	1,100

※ 令和2年3月5日～24日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

(2) 貸出者数 (単位：人、日)

合 計	一 般	児 童	団 体	開館日数	平 均		
					1日当たり	土日	祝日
82,432	71,168	10,771	493	277	298	412	293

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

ア レファレンス	61件
イ コ ピ ー	5,277枚（うちカラー294枚）
ウ 予 約	21,198件
エ 他館との資料の相互貸借	貸出し 625件 借用 1,534件
オ 障がい者サービス	自宅配本 42回 216点
カ 外部データベース・インターネット	利用件数 1,021件

(4) インターネットホームページの運営・管理

ア 「マイ本棚」機能※の運用
イ 「資料検索」ページの充実
ウ インターネットサービス（インターネット予約受付件数 14,058件、貸出期間の延長）
エ 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応
オ 開館35周年記念オリジナルブックカバーの作成と掲示

※ 「マイ本棚」機能は、読書記録等を専用のインターネットサイトに残す機能

4 雑誌スポンサー制度の導入

7法人が申請し、9誌の提供をいただいた。

5 施設の維持管理等

通常の管理のほかに、利用者用トイレ改修、一般書架南側ルーバー及びトップライト改修、講演会用の椅子の購入など施設・設備の充実及び修繕を行った。（令和元年度主要事業）

6 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 23人
活動 本の修理 延べ 648人、2,159冊を修理
- (2) きつず・らいぶらりー 16人
活動 おはなしひろば 7回開催 参加人数 子供 177人 大人 127人
打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 209人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 7人
3回開催 参加人数 54人
- (4) むこうビブリオバトル部 4人
2回開催 参加人数 45人

③ 読書推進事業費（図書館）

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内容
<おはなし会 プラスコンサート> 『なつやすみ おはなし会』 『クリスマス おはなし会』 『はるやすみ おはなし会』	令和元年 7月30日、31日 令和元年 12月25日、26日 令和2年 3月20日	55人 38人	絵本によるお話、紙芝居、ストーリーテリング（素ばなし）、CDによる音楽の紹介等を職員が行った。 《対象》夏、冬4歳～小学生 春 4歳～小学校低学年、保護者 <中止> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
おはなしひろば	毎月第3土曜日 (7、8、11、12、3月を除く。)7回	304人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
「認知症～共生と予防～」 おはなし会 「だいじょうぶだよ～認知症ってなあに?～」	令和元年9月23日	15人	絵本の読み聞かせ、手遊び、なぞなぞを行った。 共催事業「認知症～共生と予防～」の一環で、他にテーマ架配架と社会福祉協議会が講演会（9月29日、参加者数45人）を実施した。
大人の朗読会	令和元年6月23日 9月10日 12月5日	54人	図書館ボランティアによる名作の朗読会を実施した。 令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
図書館リサイクル・デー	令和元年6月20日	118人	保存年限の経過した雑誌、図書を、資源の有効活用を目的として、市民に無償で譲渡した（884冊）。この事業は環境月間事業の一環として実施した。
図書館 本の修理ボランティア 養成講座	令和元年10月8日	14人	図書館本の修理ボランティアで活躍していただけの人員の募集と、必要な知識を習得してもらうことを目的に実施した。14人の受講者のうち8人がボランティア登録を行い活動を開始した。

事業名、テーマ	開催日	参加人数	内 容
図書館 本の修理ボランティア ステップアップ講座	令和元年10月22日	14人	図書館本の修理ボランティアの技能向上を目的とした講座を実施した。
図書館・文化資料館開館 35周年記念特別展 「昭和モダンと向日町」 (令和元年度主要事業)	令和元年11月2日 ～12月1日	1,501人	35周年を迎えた文化資料館との共同事業として、高い交通利便性や明るい風土、陶芸に適した土壌などを背景に多くの学者や芸術家たちが住居を構え、文化・芸術的な空気に満ちていた昭和の向日町の様子を美術工芸品や資料で紹介した。
第8回「子ども読書本の しおりコンテスト」入賞 作品の展示	令和元年12月13日 ～12月25日	来館者	京都府図書館等連絡協議会主催の「子ども読書本のしおりコンテスト」の入賞作品を借用して展示した。
第18回小中学生読書感想 文コンクール	募集期間 令和元年9月8日 ～29日 入賞者表彰式 令和元年12月21日	171編	市内の小・中学生を対象に読書感想文を公募した。 その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
文学講座 開館35周年記念文学講座 「水上勉の世界」	令和2年3月19日 3月26日		<中止> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
むこうビブリオバトル	令和元年7月27日 12月7日	45人	発表者が5分間で、互いに本を紹介しあう「ビブリオバトル」を、図書館ボランティア主催で実施した。 令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
渡邊武コレクション 《常設展示》	平成31年4月～ 令和2年3月	来館者	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて展示した。
体験学習、施設見学	平成31年4月～ 令和2年3月	体験2校 見学 5校5回 1園1回	市内の中学校2年生（7人）の体験学習及び市内小学校、幼稚園の見学（541人）を受け入れた。
自習室の開設	令和元年8月14日 ～23日 (17日～19日を除く)	41人	研修室の空いている期間を利用し、夏休み期間に自習室を開設した。 <<対象>>小学5年生以上
他機関との協力	随時	来館者	「平和と人権」、「世界アルツハイマーデー」、「耳の日」など市や関連団体の事業に協賛して関連図書をテーマ架に展示した。

1 0 教育費 4 社会教育費 7 資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入 館 者 数 15,337人
- (2) 開 館 日 数 296日
- (3) 1 日平均入館者数 52人
- (4) 団 体 見 学 102団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

清掃管理、リフト保守管理、空調設備保守管理、消防設備点検、樹木剪定、収蔵庫燻蒸、展示室電気系統修繕、研修室空調設備修繕、研修室扉修繕、消火ホース検査などを委託し、施設の適切な維持管理に努めた。

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 事業

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内 容
歴史ウォーク 「むこうまち」を歩こう！	① 4月27日(土) ② 5月25日(土) ③ 6月22日(土) ④ 11月2日(土) いずれも午後1時30分～午後4時	①22人 ②19人 ③20人 ④26人	①～③は、昨年度に地図づくりボランティア活動で改訂された3種類の「むこうまちを歩こう！」ウォークマップをもとに、④は、西国街道リレーウォーク（歴史街道推進協議会主催）の一環として市内外からの参加者に対し、「絵図で歩く向日町と西国街道」と題して、向日市内の史跡や名所を訪ね、参加者に対し職員が解説を行った。
ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る！ part 9	5月3日(金)～ 6日(月)	延べ 622人	当館市民活動グループの模型制作工房が制作した模型「昭和35年(1960)頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型」に、鉄道模型のレールを連結し、昭和35年当時の向日町駅に電車が走る風景を再現した。
日曜談話会 ①「近代における古代宮都の探究と顕彰」 ②「向日町劇場について」	① 5月19日(日) ② 11月24日(日) いずれも午後2時～午後4時	①25人 ②29人	職員が展示準備や資料整理の中で調べた内容を報告し、参加者と意見交換した。
連続講座 「向日市史概要版『向日市の歴史』を読む」	① 6月23日(日) ② 7月28日(日) ③ 9月22日(日) ④ 10月27日(日) ⑤ 12月22日(日) いずれも午後2時～午後4時	①77人 ②83人 ③70人 ④64人 ⑤59人	「向日市史」（上巻：昭和58年刊、下巻：昭和60年刊、資料編：昭和63年刊）の内容をもとに、その後30年間の調査・研究の成果も含めて向日市の歴史概要をまとめた「向日市の歴史」を職員の解説で読み進める講座を全5回シリーズで開催した。
古代衣裳公開研修 第1部「天皇の冠・冕冠（べんかん）を作る」 第2部「古代天皇の衣裳を復元する」	6月29日(土) 午前10時30分～12時 午後1時30分～3時	58人	古代の都・長岡京の時代の復元古代衣裳について、文化資料館での取組みに助言、指導いただく専門家を講師に招き、第1部では天皇の冠「冕冠（べんかん）」の復元制作、第2部では古代天皇の衣裳に関する講演会を行った。

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内 容
その他 古代衣裳関係事業	① 8月9日(金) 午前10時～正午、 午後1時30分～午後3時30分 ② 9月5日(木) 午前11時30分～午後4時 ③ 10月27日(日) 午前10時30分～午前12時 ④ 11月16日(土) 午後1時30分～午後3時	①35人 ②25人 ③25人 ④36人	向日市域の歴史の中でも特徴的な時代である古代の都・長岡京について学習し、古代衣裳を交えながら郷土の歴史、文化、風俗への理解を深めてもらうことを目的として、①夏休み期間中に古代衣裳着用体験会の開催、②9月に開催された「みゆぜコット2019 in 京都」への参加、③・④「向日市まつり」において「大極殿衣裳行列」を開催した。
夏休み親子歴史教室 「向日庵」の和紙文化を学ぶ (文化庁「伝統文化親子教室事業」京都府「文化を未来に伝える次世代育み事業」)	① 7月24日(水) ② 7月25日(木) いずれも午後1時30分～午後4時 ③ 7月26日(金) 午前10時40分～午前11時45分	①・② 延べ26人 ③17人	向日市内に居宅があった英文学者・和紙研究家の寿岳文章の業績や和紙の性質などを学習するとともに、紙漉きや和紙を用いた作品づくりを体験するワークショップを開催した。26日は京都府教職員向けに開催。なお、7月26日から8月18日まで、製作した和紙のうちわ、はがきの作品展を開催した。
小さいピアノ再生連続ワークショップ (一般財団法人自治総合センター「コミュニティ助成事業」)	7月9日(火)～ 3月12日(木) 計13回 いずれも午後2時～午後3時30分	延べ236人	昭和初期、西向日住宅地の家庭で使われていた 小さいピアノ (昭和10年(1935)頃製)が資料館に寄贈された。経年変化により、音が出ないピアノを再生させるため、ピアノ本体の修理から再生記念ミニコンサート開催、最終調整までの行程に対して参加者(鑑賞者)を集め、ピアノ専門家の指導のもと、ワークショップ形式でピアノを生まれ変わらせる取り組みを行った。
特別展関連 記念講演会 「民藝建築としての向日庵」	11月10日(日) 午後2時～午後4時	40人	西向日住宅に現存する「向日庵」は寿岳文章邸としての歴史的意義に加え、近代和風建築としても評価されている。特別展「昭和モダンと向日町」の関連事業として、近代建築に関する専門家を招き、講演会を開催した。
歴史講座 シリーズ「乙訓の中世文書を読む」	① 1月26日(日) ② 2月23日(日) ③ 3月22日(日) いずれも午後2時～午後4時	①28人 ②20人 ③中止	企画展「戦国時代の物集女と乙訓・西岡」の関連事業として、3回シリーズで中世の乙訓の歴史を伝える古文書を職員が講師を務め、読み解く講座を開催した。③は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
企画展関連 記念講演会 ①「最後の物集女城主 物集女宗入の伝説と足跡」 ②「西岡・乙訓の城館と物集女城」 ③「信長・光秀の時代と物集女氏」	① 3月14日(土) ② 3月21日(土) ③ 3月28日(土) いずれも午後2時～午後4時	①②③ いずれも中止	企画展「戦国時代の物集女と乙訓・西岡」の記念講演会を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

2 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回の学習活動を支援・育成した。サークル主催の講演会を実施した。（登録者 43人）

- ・ 5月11日(土)：年次総会
- ・ 6月12日(水)：文化講演会「京都府巡査の見た西南戦争」を開催

歴史学習班：地域の歴史を研究し、その成果を取りまとめ、記念誌の発行を行う。

石造物班：石造物に特化した調査研究班。建碑場所の地図作り、碑の解説作業を行う。

史跡めぐり班：新聞紙面や向日市史概要版「向日市の歴史」、ふるさと検定テキストを教材に学習

古文書班：地域に残る古文書を読み解く。（資料：「羽柴明智山崎戦場録」「松尾社日記」「愛宕山尾崎坊日記」他）

3 文化資料館ボランティアの会の育成

常設展示案内を中心に来館者に応対するガイド班と、収蔵資料の整理、民具の展示などに取り組む資料整理・展示班に分かれて活動するボランティアの会の育成・支援を行った。（登録者27人）

活動内容

- ・ ボランティア養成講座の開催
- ・ 団体見学の案内等 39件
- ・ 土曜日の案内延べ 4199人
- ・ 総会・定例会 15回
- ・ 展示事業の協力 2件
- ・ 資料整理事業 随時
- ・ 夏休み子ども歴史教室準備
- ・ 作業補助 5日間

4 乙訓地域地形模型製作ボランティアの育成

乙訓地域の地形模型を主に行うボランティアグループにより、「明治チーム」と「昭和チーム」に分かれて、調査から制作までの各過程において、支援を行った。（登録者56人）

5 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に関わろうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する大学生6人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導した。

④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

1 調査収集

- (1) 展示のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理
(令和元年度受領図書 203機関・個人7人 計835冊)

2 資料の公開

(1) 収蔵資料貸出	2 件
(2) 写真・模型等二次資料貸出	30 件
(3) 資料写真撮影・複写	33 件
(4) 考古資料閲覧	1 件
(5) 古文書閲覧	12 件
(6) 民具閲覧	0 件
(7) 書籍閲覧	5 件

3 常設展・テーマ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検、清掃、補修
- (2) テーマ展示

常設展示以外に、館収蔵品、寄託品を中心に、テーマを設けた展示を実施した。

タイトル	展示期間
宮都の顕彰-古代の都・長岡京の中心地を探して-	4月6日(土)～6月2日(日)
夏休み親子歴史教室作品展	7月26日(金)～8月18日(日)
くらしのなかの戦争展「日中戦争期の銃後と出征兵士」	8月3日(土)～9月1日(日)
国絵図と在郷町～西国街道沿いの向日町～	11月2日(土)～12月1日(日)
くらしの道具展	1月18日(土)～2月16日(日)
ひな人形展	2月22日(土)～3月29日(日)

4 図書館・文化資料館開館35周年記念特別展「昭和モダンと向日町」

(1) 実施内容

京都と大阪の中間に位置する向日町は、昭和3年（1928）京都で挙行された昭和大典に合わせ、開通した新京阪鉄道（現在の阪急京都線）によって利便性が向上し、それに伴う住宅開発によって、都市的な生活を営む人々が現れはじめ、多くの学者や芸術家が住居を構えるようになる。昭和期の向日町に居住した人々の文化活動や、交流の様子を美術作品や資料を展示し、紹介した。

(2) 開催期間 11月2日(土)～12月1日(日)

(3) 入館者数 1,501人（1階、2階両展示室合計）

5 企画展「戦国時代の物集女と乙訓・西岡」（令和元年度主要事業）

(1) 実施内容

戦国時代に活躍した西岡の武士たち、国人衆と呼ばれた有力者の一人であった物集女氏と物集女城に焦点をあて、当時の古文書や考古資料、後世の記録を展示した。本市の中でも特色ある戦国時代について紹介し、その歴史と魅力を広く発信した。

(2) 開催日時 2月29日(土)～3月29日(日)

(3) 入館者数 767人

10教育費 4社会教育費 8天文館費

② 天文館管理運営費（天文館）

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影及び団体予約投影番組

「たいようくんとおつきちゃん」	「七夕ものがたり」
「THE MOON 月のふしぎ」	「Wonders of the Universe」
「宇宙～その大きさを感じてみよう」	「流れ星をおいかけて」
「宇宙はノンストップ」	「宇宙エレベーターの旅」
「忍たま乱太郎の宇宙大冒険」	「planetarian～ちいさなほしのゆめ～」（夏期・冬期特別投影期間中）

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館 日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	565回	3,143人	1,758人	2,624人	7,525人	2,026人	10,775人	242日

※入館者総数には、定例観望会、特別観望会、天文学等講座、教室、特別事業参加者人数を含む。

イ 団体予約学習投影

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	50日	86回	22件	65件	18件	69件	449人	630人	1,774人	2,853人

ウ 一般投影（単位：人）

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大人	小中学生	幼児	合計
計	147日	479回	2,694人	1,128人	850人	4,672人

(2) 特別企画

ア プラネタリウム投影券の引替事業

対象	市内在住の小・中学生全員 特別支援学校の児童・生徒は介護者又は保護者1人
期間	令和元年7月3日（水）～9月29日（日）
配布枚数	市立小学校生2,292枚、市立中学校生1,478枚、特別支援学校生36枚、市立学校以外240枚
引替数	小学生 176人、中学生 18人 市立学校以外3人 合計 197人

イ 七夕ファミリーコンサート

日時	令和元年8月3日（土）①午後2時～2時30分 ②午後3時～3時30分
内容	バイオリンとピアノの生演奏と当日の星空解説のコラボレーション
出演	市民演奏者2名
参加者数	①43人 ②44人

ウ キッズプラネタリウム

日時	令和元年8月9日（金） 1回目 午前10時～午前10時45分、2回目 午前11時15分～正午
講師	向日市天文館職員
内容	夏の星空案内と創作物語「こぎつねチロンとさそりの灯」を投影
入場者数	1回目 51人、2回目 38人 合計 89人

エ 星空☆落語

日時	令和元年10月19日（土）午後4時～5時
内容	落語と当日の星空解説を楽しむ
出演	立命館大学落語研究会
入場者数	45人

オ 熟睡プラ寝たリウム

日 時 令和元年11月24日（日）午後4時～4時45分
講 師 向日市天文館職員
内 容 星空と音楽に包まれて45分間のリラックスタイム
入場者数 28人

カ クリスマスコンサート

日 時 令和元年12月21日（土） 午後3時30分～4時30分
内 容 鍵盤ハーモニカの生演奏と当日の星空解説のコラボレーション
出 演 けんはも合奏団
入場者数 52人

キ かぐやくんとお誕生日の星座

日 時 令和2年2月29日（土）
1回目 午前11時15分～正午、2回目 午後2時30分～3時15分
講 師 向日市天文館職員
内 容 かぐやくんとお誕生日の星座（黄道12星座）を紹介
入場者数 28人

2 天体観望会関係

(1) 定例天体観望会

目 的 星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催
開 催 日 毎月第2土曜日 午後7時～午後9時
開催回数 10回（台風及び新型コロナウイルス感染症の影響で2回中止）
天体観測・星空解説ともに開催 8回
星空解説のみ開催 2回
申込人数 684人（市内： 241人、市外： 443人）
参加人数 354人（市内： 141人、市外： 213人）

(2) 特別天体観望会

ア スターウォッチング in 朝堂院

目 的 野外観望会を通して天体への関心を深めることを目的に開催
日 時 令和元年5月18日（土） 午後7時30分～8時30分
会 場 朝堂院跡
内 容 望遠鏡や双眼鏡を使い、月や惑星、春の星座等を観望
参加人数 曇天のため中止

イ 夏休み親子天体観望会

目 的 夏休みに、小学生とその家族が天体観望会に参加し、天体に関心を深めることを目的に開催
日 時 令和元年7月27日（土）午後7時30分～8時30分
会 場 天体観測室及び星見台
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 24人（雨天のためプラネタリウム室での解説に変更）

ウ 部分日食観望会

目 的 部分日食を観望し、天体に関心を深めることを目的に開催
日 時 令和元年12月26日（木）午後2時30分～4時
会 場 星見台
内 容 日食メガネを使い星見台で観望
参加人数 雨天のため中止

エ 昼の金星観望会

目 的 月と同様に満ち欠けする金星を観望することにより、宇宙への興味と科学に対する関心を深めることを目的に開催
日 時 令和2年3月25日（水）～29日（日）午後2時30分～3時30分
会 場 天体観測室
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3 講座・講演関係

(1) 天文実験講座 「宇宙からの観測技術を学ぼう」

日 時 令和元年10月26日（土）午前10時～正午
会 場 天文館会議室
講 師 京都技術士会 理科支援チーム
参加者数 2人

(2) 天文学講座

第1講講座 「ボイジャー太陽系脱出」、「月世界」のプラネタリウム投影講座

日 時 令和元年9月21日（土）、22日（日）10時・10時30分・11時15分・11時45分・
13時・13時30分・14時15分・14時45分・15時30分・16時
会 場 天文館プラネタリウム室
参加者数 303人

第2講講座 「銀河の中心で何が起きているの？」

日 時 令和元年11月17日（日）午後4時～5時
会 場 天文館プラネタリウム室
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 32人

第3講講座 「太陽系の起源を求めて」

日 時 令和元年12月15日（日）午後4時～5時
会 場 天文館プラネタリウム室
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 38人

- (3) 出前講座 市立の6小学校へ出向き、「月の満ち欠けの仕組み」に関する講座を開催
- 日 時 令和元年9月～12月
- 会 場 各小学校
- 講 師 アストロ・アカデミア講師
- 参加者数 向陽小学校 6年生 110人、第2向陽小学校 4年生 94人
 第3向陽小学校 6年生 62人、第4向陽小学校 6年生 103人
 第5向陽小学校 4年生 83人、第6向陽小学校 4年生 54人

(4) 特別天文講演会 「月を見て地球環境変動を知る」

- 日 時 令和2年2月22日（土）午後1時30分～2時30分
- 会 場 天文館プラネタリウム室
- 講 師 JAXAチーフエンジニア室 主任研究開発員
- 参加者数 39人
- 参加者数 64人

4 天文教室関係

(1) 夏の天文教室 ①②

- 日 時 ①令和元年7月24日（水）午前11時～11時30分
 ②令和元年7月25日（木）午前11時～11時45分
- 会 場 天文館プラネタリウム室
- 内 容 「プラネタリウムで星をさがそう」
- 講 師 向日市天文館職員
- 参加対象 一般（①は小学1年生～3年生、②は小学4年生～6年生）
- 参加人数 ①12人 ②6人

(2) 夏の天文教室 ③

- 日 時 令和元年7月26日（金）午前9時30分～正午
- 会 場 天文館会議室
- 内 容 「望遠鏡を作ろう」
- 講 師 向日市天文館職員
- 参加対象 小学4年生～中学生
- 参加人数 20人

(3) 夏の天文教室 ④

- 日 時 令和元年8月7日（水）午前10時～11時30分
- 会 場 天文館会議室
- 内 容 「星座うちわを作ろう」
- 講 師 向日市天文館職員
- 参加対象 小学1年生～3年生
- 参加人数 12人

(4) 夏の天文教室 ⑤

日 時 令和元年8月8日(木) 午前10時～正午
会 場 天文館ロビー
内 容 「デコアートを作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 小学4年生～中学生
参加人数 12人

(5) 秋の天文教室

日 時 令和元年11月9日(土) 午後1時30分～3時45分
会 場 天文館会議室
内 容 「星空での惑星の動き」
講 師 向日市天文館ボランティア
参加対象 小学4年生以上
参加人数 5人

(6) 冬の天文教室 ①②

日 時 ①令和2年1月19日(日) 午前11時15分～正午
②令和2年1月26日(日) 午前10時30分～11時
会 場 天文館プラネタリウム室
内 容 「プラネタリウムで星をさがそう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般(①は小学4年生以上、②は小学1年生～3年生)
参加人数 ①5人 ②15人

(7) 冬の天文教室 ③

日 時 令和2年2月15日(土) 午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「デコアートを作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般(小学4年生以上)
参加人数 5人

(8) 冬の天文教室 ④

日 時 令和2年2月16日(日) 午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「望遠鏡を作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般
参加人数 11人

1 0 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの普及、条件整備に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修機会の拡充に努めた。

（主な事業内容）

- 第38回市民総合体育大会（4月28日～7月28日）
- スポーツ交流フェア（10月14日）
- スポーツランド（11月17日）
- 地区社会体育振興会等への支援
- ワイワイスポーツクラブへの支援

1 スポーツ推進委員 13人（男8人、女5人） ※平成31年4月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) 主に教育委員会、スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	5月27日	長岡京市役所	7人
評 議 員 会	5月21日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	9月24日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月23日	京都府乙訓総合庁舎 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会長、事務局のみの役員会を開催	1人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	8月1日	西山公園体育館	7人
南丹・乙訓スポーツ推進委員研修会	11月9日	南丹市園部小学校体育館	6人
乙訓地区スポーツ推進委員交流会	2月29日	長岡京市役所	中止

(5) その他研修会等

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
第52回京都府スポーツ推進委員研究大会	6月30日	精華町むくのきセンター多目的ホール	12人
近畿スポーツ推進委員研究協議会	2月7日、8日	和歌山県民文化会館 他	9人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率		開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向陽小学校	171	290	120	144	70.2%	49.7%	168	280	111	216	66.1%	77.1%
第2向陽小学校	174	300	125	126	71.8%	42.0%	167	283	106	266	63.5%	94.0%
第3向陽小学校	154	280	70	157	45.5%	56.1%	155	266	115	230	74.2%	86.5%
第4向陽小学校	165	297	138	274	83.6%	92.3%	155	275	116	270	74.8%	98.2%
第5向陽小学校	164	297	83	96	50.6%	32.3%	146	271	84	178	57.5%	65.7%
第6向陽小学校	176	295	169	238	96.0%	80.7%	176	287	132	224	75.0%	78.0%
合 計	1,004	1,759	705	1,035	70.2%	58.8%	967	1,662	664	1,384	68.7%	83.3%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から貸出中止

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況		
	開放回数	使用回数	稼働率
	夜 間	夜 間	夜 間
勝山中学校	234	169	72.2%
西ノ岡中学校	219	192	87.7%
寺戸中学校	247	244	98.8%
西ノ岡中学校武道場	227	195	85.9%
合 計	927	800	86.3%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から貸出中止

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

(単位：回)

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
多目的運動広場（Aグラウンド）	90	342	3	2	3.3%	0.6%
多目的運動広場（Cグラウンド）	1,008		94		9.3%	
テニスコート（2面）	616		240		39.0%	
卓 球 場	855		660		77.2%	
陸上トラック	372		0		0.0%	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テニスコートは2月27日から貸出中止

3 スポーツ振興事業

(1) 第38回市民総合体育大会の開催（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子	4チーム 70人	4月28日
シニア（女子）	2チーム 25人	4月28日
テ ニ ス	17人	6月9日
ボ ウ リ ン グ	30人	6月30日
バドミントン ダブルス	98人	6月8日
バレーボール 男子	3チーム 22人	6月16日
女子	10チーム 98人	6月16日
グラウンド・ゴルフ	62人	6月2日
ゲートボール	5チーム 24人	6月16日
卓 球	80人	5月12日
ソフトテニス	110人	6月9日
バスケットボール	59人	5月12日
合 計	695人	

(2) スポーツ交流フェア（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

日 程 10月14日（月・祝）

会 場 市民体育館

競技名			参加者数
交流試合	玉入れ	地区	37人
		オープン	104人
	カーリンコン	地区	55人
ハンナリーズバスケットボールクリニック			62人
サッカークリニック			39人
アロマスプレーづくり			30人
ヨガ			28人
トレーニング室無料開放			67人
スポーツ体験（卓球・バドミントン・スリータッチ）			130人
ミニ体力テスト			89人
加盟団体交流大会（卓球・バドミントン）			125人
インボディ測定			90人
合 計			856人

(3) スポーツランド（向日市まつり）

日 時 11月17日（日） 午前10時～午後4時

会 場 向日町競輪場走路内グラウンド

内 容 グラウンド・ゴルフ、輪投げ、玉入れ、テニトリ合戦

指 導 者 スポーツ推進委員

参加者数 865人

(4) スポーツ情報交換会（（公財）向日市スポーツ文化協会との後援事業）

内 容	実施日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
講演 「44年ぶりオリン ピックへの道」	3月8日(日) 午後5時～	京都タ ワーホテ ル	市内 スポーツ 関係者	—	公益財団法人日本バスケットボール 協会副会長 兼 公益社団法人ジャ パン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ代 表理事CEO（チェアマン）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 (野球2、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺2、空手1)		8 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	26 人
向日レジェンド	野 球	42 人
向日ポパイズ	野 球	21 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	51 人
向日市少年少女スポーツジュニアバドミントン教室	バドミントン	45 人
向日市柔道教室	柔 道	21 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	26 人
育成事業補助金額	304,000 円	合 計 232 人

(2) （公財）向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 58,955,000円

(内訳) 運営補助金 27,743,000円

事業補助金 31,212,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11 地区

種 目 団 体 11 団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下（市町村対抗）に選手を派遣した。

延べ342人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第42回京都 府 民 総 合 体 育 大 会	令和元年8月 ～ 令和2年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテ ニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボ ール、サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競 技、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、駅伝競走	ソフトバレーボ ール、卓球バレー

6 フレンドシップ協定関連事業

研修会名	実 施 日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
向日市健康・アカデミー (健康・体力づくり教室)	2月21日(金)	市民体育館	市内在住の60歳 以上の方	14人	京都サンガF.C. 健康アカデミー コーチ

7 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成28年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。

指定管理料 29,100,000円

(1) 体育室稼働率 90.5%

(2) トレーニング室利用状況 23,739人

（開室日数318日・3月4日から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用中止）

(3) 満足度の調査

8 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を（公財）向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 848,000円